



佐保会徽章

紅葉の美しい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今回の支部だよりでは滋賀支部総会、第 12 回おうみ佐保塾、第 13 回おうみ佐保塾、佐保会総会のご報告をいたします。支部行事が盛会に行われたのは皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

### 平成 27 年度滋賀支部総会

日時 平成 27 年 6 月 7 日 (日) 午前 10 時 20 分～午後 2 時 30 分

場所 ピアザ淡海 (大津市) 3 階会議室 (総会)  
6 階クリスタルルーム (懇親会)

内容 総会 ・支部会員 31 名のご参加により、物故者 2 名の方への黙祷から始まりました。  
・前配布の資料に基づき検討いただいた結果、平成 26 年度事業報告と会計決算、平成 27 年度事業計画と予算および新役員が承認されました。



懇親会 ・針生祐子氏 (昭和 51 年理学部物理学科卒) によるシャンソンミニコンサート  
・集合写真の撮影 ・会食 (参加者 39 名) ・校歌斉唱

会食に先立ち、針生祐子氏 (伴奏 藤林由里氏) によるシャンソンミニコンサートが行われました。本部からも正田洋子理事長を始め、5 名の方々のご参加くださいました。針生氏は「マイ・ウェイ」「愛の讃歌」など思わず口ずさんでしまいそうになる曲の他にご自身の子どもへの思いをうたわれた「うんうん、そうそう」などオリジナル曲も披露され私たちを魅了されました。



### 平成 27 年度新入および転入会員の紹介

今井歩美 文・言語文化学科 今井佑紀 文・言語文化学科 西村恵美 文・言語文化学科  
藤井美樹 文・人間科学科 大西真奈実 理・数学科 川口仁美 理・数学科  
新井里英 理・情報科学科 中井明希 生・住環境学科 紀伊瑞穂 生・生活文化学科  
清水美咲 博前期・人間文化研究科生活文化学専攻 転入宇野由紀 博前期・人間文化研究科生物科学専攻  
転入三井菜々香 博前期・人間文化研究科生物科学専攻

## 第12回・第13回おうみ佐保塾公開講座

泉加代子氏（昭和49年家政学部被服学科卒）を講師にお迎えし、草津市立まちづくりセンターにおいて第12回おうみ佐保塾（9月18日・参加者63名）、第13回おうみ佐保塾（10月16日・参加者40名）を開催しました。松本匡代さんの感想を掲載いたします。（講演の内容についてはホームページをご覧ください）

### 「ファッション・セラピーのすすめ

#### —高齢期をいきいきと生きる—を受講して

ファッション、おしゃれ、これらの言葉には、ドキドキ、ワクワク感と、憧れ、そして少しの恥じらいと、それから僅かの罪悪感がつきまとう。おしゃれとは若くて綺麗な女性のするものだ。そういう先入観がある。私とて当然、若い頃はあった。だが哀しいことに綺麗な時は……なかった。だから、「おしゃれなんて、自分には縁のないもの」知らないうちにそんな定義をしてしまっていたのかもしれない。そんなちょっとだけ寂しく哀しい過去をひきずって、9月18日（金）草津市立まちづくりセンターで開催された、第12回おう



み佐保塾公開講座「おしゃれが認知症を改善する効果～ファッションセラピーの実践事例より～」を受講した。

講師の泉加代子氏は、半世紀前にアメリカで、精神的疾患の女性患者に対するファッションセラピーの治療効果に注目、日本の要介護高齢者に応用できないかと、2002年以來取り組んでこられた。

当講座では、泉氏の12年間に渡る研究の成果を、具体的な事例を挙げて紹介して頂いた。

さて、ファッション・セラピーとは、いったいどんなことをするのだろうか。講義に取り上げられた事例は次のようなものだった。京都府下の介護老人保健施設（老健）、特別養護老人ホーム（特養）、グループホーム入所の高齢者を対象に、6ヶ月～1年間の期間、3～4週間に1回の間隔で8～12回実施。当日着用している衣服について質問したり衣服の写真を見せて嗜好を尋ねて服装への関心を喚起させ、また、コーディネート提案や意見交換、時には化粧やマニキュアの実施。自分や周りの人たちの「おしゃれ」に関心を持ち、自らも「おしゃれ」をする。ファッションセラピーを行った結果、服装への関心が高まり、表情が明るく和らぎ、言動も積極的になるなど、情動の活性化が見られたようだ。けれども、セラピーの効果を維持させるには、施設職員や家族による日常的生活支援が必要とのことだった。



羽織リフォームのベスト

第13回おうみ佐保塾公開講座「おしゃれが元気な高齢者をさら



ショーの一場面

に元気にする効果」は、10月16日（金）前回と同じく、草津市立まちづくりセンターで開催された。

2006年、当時の介護保険制度では、栄養改善や運動機能向上による介護予防に重点が置かれ、「衣」に関しては全く触れられていなかった。泉氏はそれまでの研究・実践で明らかにされた「おしゃれが高齢者の自立や心身の健康の維持・促進につながる」ことを一般市民にも知ってほしいと、高齢者をモデルにファッションショーを開催。当講座ではそのときのビデオが上映された。今年4月介護保険制度が改正され、要支援者向けの予防給付が、全国一律のサービスから市町村が取り組む地域支援事業に移行されたという時局柄、介護予防をコンセプトにしたシニア・ファッ

ジョンショーの上映は、2006年に開催されたものではあるが、「自分の身は自分で守る」という主題において、タイムリーだった。モデルをされたのは、シニアの有志、63歳～94歳の男女。自身で小道具やポーズを工夫したそうで、見るからに楽しそうだった。

ショーの準備を通して、回を重ねるごとにおしゃれになり、それにとまって、生き生きと若々しく元気になり、衣装への意見やコーディネートの提案をするようになり、以前と比べモデルの方々は、服装への関心が高まり、自己意識の高揚、表情のプラス方向への変化、行動意欲・対人関係の向上が見られたそう。また、観客にも好評で、服装への関心が高まり、自己意識の向上が見られたということだった。日常のおしゃれを楽しむことは、健康を維持・増進し、介護予防につながる。健康寿命を延ばす4つの秘訣「テクテク（適度な運動）」「カミカミ（規則正しい食事）」「ニコニコ（笑いとの健康）」「ドキドキ・ワクワク（五感を使った感動）」の持続。おしゃれは「ニコニコ」と「ドキドキ・ワクワク」

一人暮らしで認知症になったら……。漠然とした不安があった。まだ先の事だと思っはいるが、若年性認知症は64歳以下で発症する。それを思うと、そんなに悠長に構えてられない。外出するときだけではなく、一日中家に居て、誰とも会わない日でも、自分自身が楽しむプチおしゃれを試みようかな♪♪♪なんて思った。



## 一般社団法人佐保会、奈良女子大学同窓会佐保会総会

9月27日、第4回一般社団法人佐保会代議員総会と同窓会総会に出席しました。代議員総会に上程された議案はすべて承認され、27年度の事業がスタートしました。特記することは各支部による地域社会への貢献に対して、会費納入会員一人について100円位の補助がつくということです。（総会の詳細については、後日発行の佐保会報をご覧ください。）



午後からは同窓会総会となり、あいさつの中で、今岡春樹学長からは、大学の厳しい財政の現状と今後の方向についてお話がありました。奈良女は少人数の学生に対して優秀な教員が配置され、全国的にも恵まれており、この環境を守るためにも国立大学法人奈良女子大学への支援を柱として、「優秀な学生を送り込んで欲しい、なでしこ基金\*への協力をお願いしたい、奈良女子大学を世界一の女子大にしたい」との希望を語られました。

\*なでしこ基金：今までの寄付金を原資として留学生や苦学生への支援、大学院生への寄宿舎用意などの支援を行うもの

懇親会の中では、出席された各支部長から魅力的な支部運営のノウハウを披露していただきました。埼玉支部では、若い会員に同窓会が魅力あるものとして、支部の存在を知ってほしいとの願いを込めて、会員から寄付を募り、『日本一の桜並木回廊プロジェクト』に参加し、「みやび桜」の植樹をし、「佐保会埼玉支部」と記銘したプレートを建てたという話がありました。

また、ホームページを通して、若い会員さんから支部活動にも参加しづらいので退会したい旨のメールが届いた時に、役員がその方に手紙を書いて送ったところ、「いつの日かお会いできる機会を楽しみにしている」という返事が返ってきたというエピソードも披露されました。

最後は、文学部准教授の西村さとみ氏が「国風文化とヤマト」と題して講演され、充実した秋の一日でした。（詳細については、後日発行の佐保会報をご覧ください。）（高田正子記）

## お知らせ

**受賞** 松本匡代さん(昭 60 理物)の小説「清濁～本能寺の変異聞～」が第 65 回滋賀県文学祭の小説部門で「特選」に入賞されました  
「独白新選組～隊士たちのつぶやき～」が文芸出版部門で「入賞」されました。

### 第 14 回おうみ佐保塾

平成 28 年 4 月 26 日 (火) 13 : 30 より草津市立まちづくりセンターにて開催の予定です。

講師：いかいゆり子氏 著書 「近江のかくれ里：白洲正子の世界を旅する」

「近江の芭蕉：松尾芭蕉の世界を旅する」

第 15 回、第 16 回は 9 月以降を予定しています。詳細は後日お知らせいたします。

### 新役員紹介

支部長	浅野純子	(昭 50 理化)	一般社団法人佐保会	指定代議員
会計	和田隆子	(昭 49 理物)		
会計監査	加藤照美	(昭 49 理化)		
	山本真樹子	(昭 53 理化)		
地区委員	高田正子	(昭 42 家住)	一般社団法人佐保会	代議員
	小笠原美和子	(昭 45 家住)		
	井上加代子	(昭 46 家被)		
	塚田多佳子	(昭 51 文教)		
	小南葉子	(昭 57 家住)		
	松本匡代	(昭 60 理物)		

一般社団法人佐保会理事

山川明子 (昭 35 文教)

辻喜久子様、西原和代様、村澤民子様は支部役員を退任されました。長い間ありがとうございました。

**3 年間、よろしくお願いいたします。**

**皆様、風邪などひかれませんように、お元気でお過ごしください。**

- ・平成 27 年度の会費納入をお願いいたします。未納の方には振り込み用紙を同封しています。既にお振込み済みの場合はご容赦ください。振替口座をお持ちの方はご利用ください。
- ・住所・電話番号などを変更された方は支部長までご連絡ください。
- ・滋賀支部ではホームページを開設しています。「佐保会滋賀支部」でご検索ください。

